

読み書き 1, 2, 3

- 1: 総ルビ
 - 2: 半ルビ
 - 3: ルビ無し
- } それぞれ
10回ずつ読めば
読み方は
覚えられるでしょう

4. 書き取り.
(書き取りは、
カラー筆順で
筆順を
学んでからが
適当です。)

小川 おがわ

一一 いちいち しらべる

一円 いちえん ・ 一日 いちにち ・ 一年 いちねん

一日 いちにち ・ 一月 いっかげつ

一年 いちねん ・ 一日 いちにち

一目 いちもく 置く お

一気 いっいき にやる

一見 いっけん すると

一糸 いっし まとわず

一生 いっしょう かつて

一手 いって にひきうける

左右 さゆう をよく見て

雨足 あまあし がはやい

雨水 あまみず をためる

雨天 うてん ・ 晴天 せいてん

小雨 こさめ ・ 大雨 おおあめ

小川 がわ

一一 いち しらべる

一円 えん ・ 一日 いち ・ 一年 いち ねん

一日 いち ・ 一月 いつ か げつ

一年 ねん ・ 一日 いち にち

一目 もく 置く お

一気 き にやる

一見 けん すると

一糸 し まとわず

一生 しやう かかって

一手 て にひきうける

左右 さ ゆう をよく見て

雨足 あし がはやい

雨水 みず をためる

雨天 てん ・ 晴天 せい てん

小雨 こ ・ 大雨 おお あめ

小川

一一しらべる

一円・一日・一年

一日・一カ月

一年・一日

一目置く

一氣にやる

一見すると

一糸まとわず

一生かかって

一手にひきうける

左右をよく見て

雨足がはやい

雨水をためる

雨天・晴天

小雨・大雨

おがわ

しらべる

いちいち

いちえん

・一日・一年

いちにち

・一カ月

いちねん

・一日

いちきく

置く

いっま

にやる

いっけん

すると

いっし

まどわず

いっしょう

かかって

いって

にひきうける

さゆう

をよく見て

あまあし

がはやい

あまみず

をためる

うてん

・晴天

こさめ

・大雨

一円・十円・百円
いち えん じゅう えん ひゃく えん

王子・王女
おうじ おうじよ

女王・王様
じよおう おうさま

足音がする
あしおと

子音・母音
し いん ぼ いん

上下はんたい
じょうげ

川下・川上
かわしも かわかみ

下山・登山
げさん とさん

月下美人
げつかびじん

下水道・上水道
げすいどう じょうすいどう

下足・上げき
げそく うわ

下手・上手
したて うわて

下手・上手
しもて かみて

下手・上手
へた じょうず

下火になる
したび

下町にすむ
したまち

一円・十円・百円
いち じゅう えん ひゃく えん

王子・王女
じ おう じょ

女王・王様
じょ おう さま

足音がする
あし

子音・母音
し ぼ いん

上下はんたい
じょう

川下・川上
かわ かわ かも

下山・登山
げ とう ざん

月下美人
か び じん

下水道・上水道
すい どう じょう すい どう

下足・上ばき
そく かわ

下手・上手
て うわ て

下手・上手
て かも て

下手・上手
た じょう ず

下火になる
び

下町にすむ
まち

一円・十円・百円

月下美人

王子・王女

下水道・上水道

女王・王様

下足・上ばき

足音がする

下手・上手

子音・母音

下手・上手

上下はんたい

下手・上手

川下・川上

下火になる

下山・登山

下町にすむ

いち えん
・十円・百円
ひやく えん

おう じ
・王女
おう じよ

じよ おう
・王様
おう さま

あし おと
がする

し いん
・母音
ぼ いん

じよう げ
はんたい

かわ しも
・川上
かわ かみ

げ ざん
・登山
と ざん

げっ か
美人
び じん

げ すい どう
道・上水道
じよう すい どう

げ そく
・上げき
うわ

した て
・上手
うわ て

しも て
・上手
かみ て

へ た
・上手
じよう ず

した び
になる

した まち
にすむ

下下しも じものことは知しらない

火氣か き嚴禁げん きん

火口か こう・火山か ざん

休火山きゅうか ざん・活火山かつか ざん・死火山し か ざん

火中か ちゆうの栗くりをひろう

火力かりよく 水力すい りよく 原子力げん し りよく

大火たい かになる

草花くさ はなをとる

百花ひゃっ か繚乱りょうらん

学生がく せい・大学だいがく

学年がく ねん・学校がっこう

学名がく めい・俗名ぞく めい

学力がく りよくがある

学校がっこう・学年がく ねん・学力がく りよく

休学きゅうがく・休校きゅうがっこう

くを見学けん がくする

下下じものことは知らないし

火氣き嚴禁げん きん

火口こう・火山か ざん

休火山きゅう ざん・活火山かつ か ざん・死火山し か ざん

火中ちゆうの栗くりをひろう

火力りよく 水力すい りよく 原子力げん し りよく

大火たいになる

草花くさをとる

百花ひやっ繚乱りょうらん

学生せい・大学だい がく

学年ねん・学校がっ っこう

学名めい・俗名ぞく めい

学力りよくがある

学校こウ・学年がく ねん・学力がく りよく

休学きゅうがく・休校きゅうがう っこう

くを見学けんする

下下のことは知らない

百花繚乱

火気厳禁

学生・大学

火口・火山

学年・学校

休火山・活火山・死火山

学名・俗名

火中の栗をひろう

学力がある

火力 水力 原子力

学校・学年・学力

大火になる

休学・休校

草花をとる

くを見学する

しよ じよ
のことは知らない

か き
げん きん
厳禁

か こう
か ざん
火山

きゆう か ざん
かっ か ざん
し か ざん
休 活火山・死火山

か ちゆう
くり
の栗をひろう

か りよく
すい りよく
げん し りよく
水力 原子力

たい か
になる

くさ ばな
をとる

ひやつ か
りよう らん
繚乱

がく せい
だい がく
大学

がく ねん
がっ ぎょう
学校

がく めい
ぞく めい
俗名

がく りよく
がある

がっ ぎょう
がく ねん
がく りよく
学年・学力

きゆう がく
きゆう ぎょう
休校

けん がく
する

入学式・卒業式
にゅうがく しき そつぎょう しき

一気にすすむ
いっせき

男気がある
おとこげ

くする気力がある
きりよく

空気をすう
くうき

正気をうしなう
せいき

生氣がある
せいき

天気になる
てんき

休校
きゅうこう

休日・終日
きゅうじつ しゅうじつ

玉石とりまぜて
ぎよく せき

目玉やき
め たま

金目のものがない
かねめ

金山・銀山
きんざん ぎんざん

金糸・銀糸
きんし ぎんし

金力・権力
きんりよく けんりよく

入学式・卒業式
にめう しせき そつぎょう しき

一気にすすむ
いちいき

男気がある
おどり

くする気力がある
りよく

空気をすう
くう

正気をうしなう
しょう

生氣がある
せい

天気になる
てん

休校
こう

休日・終日
じつ しゅうじつ

玉石とりまぜて
せき

目玉やき
め

金目のものがない
め

金山・銀山
ざん ざん

金糸・銀糸
し ざん

金力・権力
りよく けん

入学式・卒業式

休校

一気にすすむ

休日・終日

男気がある

玉石とりまぜて

くする気力がある

目玉やき

空気をすう

金目のものがない

正気をうしなう

金山・銀山

生氣がある

金糸・銀糸

天氣になる

金力・権力

にゆう がく しき **式・卒業式** そつ ぎよう しき

らう き **にすすむ**

あつたし き **がある**

くする **がある** あつたし

くう き **をすう**

しょう き **をうしなう**

せい き **がある**

てん き **になる**

きゆう じつ

きゆう じつ **・終日** しゆう じつ

ぎよく せき **とりまぜて**

め だま **やき**

かね め **のものがな**

きん ざん **・銀山** きん ざん

きん し **・銀糸** きん し

きん りよく **・権力** けん りよく

口金をあける
くち がね

小金をためる
こ がね

九九八十一
くく はち じゅういち

青空市場
あおぞら いちば

空気・気体
くう き きたい

空車のタクシー
くうしゃ たし

空中・水中
くうちゅう すいちゅう

正月をむかえる
しょうがつ

夕月夜
ゆうつきよ

小犬・小ネコ
こいぬ こねこ

先見の明がある
せんけん めい

糸口を見つける
いとぐち み

入口・出口
いりぐち でぐち

大口をたたく
おおぐち

口金をひらく
くち がね

口上をのべる
くわじょう

口金をあけるくち

小金をためるこ

九九八十一はちじゅういち

青空市場あおぞら

空気・気体き

空車のタクシーあし

空中・水中ちゅう

正月をむかえるしょう

夕月夜ゆう

小犬・小ネコいぬ

先見の明があるせん

糸口を見つけるいと

入口・出口いり

大口をたたくおほ

口金をひらくがね

口上をのべるくちやう

口金をあける

小金をためる

九九 八十一

青空市場

空気・気体

空車のタクシー

空中・水中

正月をむかえる

夕月夜

小犬・小ネコ

先見の明がある

糸口を見つける

入口・出口

大口をたたたく

口金をひらく

口上をのべる

くち がね をあける

こ がね をためる

く く 八十一
はちじゅういち

あお そら 市場
いちば

くう き ・気体
き たい

くう しゃ のタクシー

くう ちゅう ・水中
すい ちゅう

しょう がつ をむかえる

ゆう づき よ 夜

こ いぬ ・小ネコ

せん けん の明がある
めい

いど ぐち を見つける
み

いり ぐち ・出口
で ぐち

おお ぐち をたたく

くち がね をひらく

こが じょう をのべる

小口に分ける
こぐち わ

学校・休校
がっこう きゅうがっこう

学校は休校です
がっこう きゅうがっこう

左右・右手
さゆう みぎて

左足・右足
ひだりあし みぎあし

火山が噴火する
かざん ぶんか

下山する
げざん

火山・高山
かざん こうざん

山上から見ると
さんじょう み

山川草木
さんせん そうもく

山村・漁村
さんそん ぎょそん

山中に分け入る
さんちゅう わい

山林の火事
さんりん かじ

赤子の手をねじるよう
あかご て

子女の教育
しじょ きょういく

一糸乱れぬ
いっし みだ

小口に分ける こわ

学校・休校 がっ きゅう じゅう

学校は休校です がっ きゅう じゅう

左右・右手 ゆう みぎ て

左足・右足 あし みぎ あし

火山が噴火する か ぶん か

下山する げ

火山・高山 か こう さん

1 0 1 1

山上から見ると じょう み

山川草木 せん そく もく

山村・漁村 そん ぎょ せん

山中に分け入る ちゅう わ い

山林の火事 りん か じ

赤子の手をねじるよう あか て

子女の教育 じよ きよう いく

一糸乱れぬ いっ みだ

1 0 1 2

小口に分ける

学校・休校

学校は休校です

左右・右手

左足・右足

火山が噴火する

下山する

火山・高山

山上から見る

山川草木

山村・漁村

山中に分け入る

山林の火事

赤子の手をねじるよう

子女の教育

一糸乱れぬ

こ
ぐち
に分ける

がっ
こう
・休校
きゅう
こう

がっ
こう
は休校です
きゅう
こう

さ
ゆう
・右手
みぎ
て

ひだり
あし
・右足
みぎ
あし

か
ざん
が噴火する
ふん
か

げ
ざん
する

か
ざん
・高山
こう
ざん

さん
じょう
から見る
み

さん
せん
草木
そう
もく

さん
そん
・漁村
ぎょ
そん

さん
ちゆう
に分け入る
わ
い

さん
りん
の火事
か
じ

あか
ご
の手をねじるよう
て

し
じよ
の教育
きよう
いく

いっ
し
乱れぬ
みだ

糸口いとぐちが見つかみからない

糸車いとぐるまをまわす

お金かねに糸目いとめをつけない

赤字あかじ・黒字くろじ

赤十字病院せきじゅうびょういん

耳目じもくをあつめる

車中しゃちゆう・車外しゃがい

水車すいしゃをまわす

上手うわてをとる

大手おおてを振ふつて歩あるく

男手おとこでがほしい

女手おんなでがいる

下手したてに出でる

手中しゅちゆうにおさめる 手中しゅちゆうにする

入手にゆうする

出入しゅつにゆうをつける

糸口ぐちが見つみつからみない

糸車ぐるまをまわす

お金かねに糸目めをつけない

赤字じ・黒字くろじ

赤十字じゆうじ病院びやういん

耳目もくをあつめる

車中ちゆう・車外しゃがい

水車すいをまわす

上手うわをとる

大手おほを振ふって歩あるく

男手おとこがほしい

女手おんながいる

下手したに出でる

手中ちゆうにおさめる 手中しゅちゆうにする

入手にゆうする

出入にゆうをつける

糸口が見つからない

上手をとる

糸車をまわす・

大手を振って歩く

お金に糸目をつけない

男手がほしい

赤字・黒字

女手がいる

赤十字病院

下手に出る

耳目をあつめる

手中におさめる 手中にする

車中・車外

入手する

水車をまわす

出入をつける

いど ぐら いど み が見つからない

をまわす

いど ぐるま

お金に かね いとめ をつけない

・黒字

あか あか くろ じ

病院

せき じゆう じ びやう いん

をあつめる

じ あ く

・車外

しや ちゆう しや がい

をまわす

すい しや

うわ て をとる

を振って歩く あ る

おお て

がほしい

おど で

がいる

おん な で

に出る

した て で

におさめる しゅ ちゆう 手中にする

しゅ ちゆう

する

にゆう しゅ

をつける

しゅ つ にゆう

出力100万キロワット
しゅつりょく まん

異論百出
い ろん ひやく しやう

王女と王子
おうじよ おうじ

女手・男手
おんなで おんど

春の小川
はる おがわ

小石をひろう
こいし

小犬のワルツ
こいぬ

小男・大男
こおと おおと

小口に分ける
こぐち

小雨が降る
こさめ

七人の小人
しちにん こびと

川上・川下
かわかみ かわしも

山上からのながめ
さんじやう

車上の人となる
しゃじやう ひと

上下・左右
じやうげ さゆう

森林が水を貯える
しんりん みず たくわ

出力100万キロワット
りよく まん

異論百出
い ろん ひやく

王女と王子
おうじ

女手・男手
おんなで おんな

春の小川
はる がわ

小石をひろう
いし

小犬のワルツ
いぬ

小男・大男
おんな おんな

小口に分ける
ぐち わ

小雨が降る
さめ ふ

七人の小人
しちにん びと

川上・川下
かわ かわ

山上からのながめ
さん

車上の人となる
しゃ ひと

上下・左右
げ さ

森林が水を貯える
りん みず たくわ

出力100万キロワット

異論百出

王女と王子

女手・男手

春の小川

小石をひろう

小犬のワルツ

小男・大男

小口に分ける

小雨が降る

七人の小人

川上・川下

山上からのながめ

車上の人となる

上下・左右

森林が水を貯える

100万キロワット
しゅつ りよく まん

異論
い ろん ひやく しゅつ

と王子
おう じ

・男手
おんな で おとこ で

春の
はる お がわ

をひろう
こ じ

のワルツ
こ じ

・大男
おお おとこ

に分ける
こ ぐち わ

が降る
こ さめ ふ

の小人
しち じん こ びと

・川下
かわ しみ

からのながめ
さん じょう

の人となる
しや じょう ひと

・左右
じょう げ さ ゆう

が水を貯える
しん りん みず たくわ

人生・一生
じん せい いっ しょう

下水と上水
げ すい じょう すい

水車がまわる
すい しゃ

火力発電
か りよく はつ でん

正月・師走
しょうがつ し わす

正気にもどる
しょうき

学生・生徒・児童
がくせい せいと じどう

生気にあふれる
せい き

人生いろいろ
じん せい

先生と生徒
せんせい せいと

青青とした山
あお あお やま

青空が見える
あおぞら み

青田をかる
あおた

青竹
あお たけ

玉石混交
ぎよく せき こん こう

赤子の手をひねるようなもの
あかご て

人生・一生
せい せい

下水と上水
げ じょう ずい

水車がまわる
しや

火力発電
かりよく はつ でん

正月・師走
がつ がつ し わす

正気にもどる
ま

学生・生徒・児童
がく せい と じ ぎやう

生氣にあふれる
ま

人生いろいろ
じん

先生と生徒
せん せい と

青青とした山
あお やま

青空が見える
ぞら み

青田をかる
た

青竹
たけ

玉石混交
ぎよく こん こう

赤子の手をひねるようなもの
こ て

人生・一生

人生いろいろ

下水と上水

先生と生徒

水車がまわる

青青とした山

火力発電

青空が見える

正月・師走

青田をかる

正気にもどる

青竹

学生・生徒・児童

玉石混交

生氣にあふれる

赤子の手をひねるようなもの

じん せい
いっ しょう
・一生

げ すい
じょう すい
と上水

すい しゃ
がまわる

か りよく
はつ でん
発電

しょう がつ
し わす
・師走

しょう き
にもどる

がく せい
せい と
・生徒・児童

せい ぎ
にあふれる

じん せい
いろいろ

せん せい
せい と
と生徒

あお あお
とした山
やま

あお ぞら
み
が見える

あお た
をかる

あお たけ

ぎよく せき
こん こう
混交

あか ご
て
の手をひねるようなもの

先あし先おとまでよむ

先生せんせいに言うい

大川おおかわ・小川おがわ

小川おがわ・大川おおかわ

足あし早はやに行くい

早耳はやみみ・耳みみが早はやい

草木くさきもねむる

草花くさばなをつむ

足音あしおとをしのばせて歩あるく

足早あしはやに歩あるく

下足番げそくばん

大男おおおとこ・小男こおとこ

大本おおもとをかためる

大火たいかにあう

大木たいぼくをたおす

男気おとこきのある人ひと

先あづか先あづかまでよむ

先生せいせいに言うい

大川おお・小川お

小川お・大川お

足あし早いに行く

早耳みみ・耳はやが早い

草木きもねむる

草花はなをつむ

足音あしなをしのばせて歩あるく

足早はやに歩あるく

下足げ番ばん

大男おとこ・小男こおとこ

大本もとをかためる

大火かにあう

大木ほくをたおす

男気おとこのある人

先先までよむ

先生に言う

大川・小川

小川・大川

足早に行く

早耳・耳が早い

草木もねむる

草花をつむ

足音をしのばせて歩く

足早に歩く

下足番

大男・小男

大本をかためる

大火にあう

大木をたおす

男気のある人

までよむ

までよむ

せい

に言う

おかわ

・小川

おかわ

・大川

あし

に行く

はや

・耳が早い

くさ

もねむる

くさ

む

あし

をしのばせて歩く

あし

に歩く

げ

番

おとこ

・小男

おとこ

をかためる

たい

にあう

たい

をたおす

おとこ

のある人

男と女・男女
おとこ ぶんな だん じよ

竹林の七賢人
ちく りん しち けん じん

火中の栗をひろう
か ちゆう くり

空中・水中
くう ちゆう すい ちゆう

手の中にする
しゅ ちゆう

下町・山手
した まち やま て

市町村・都道府県
し ちよう せん どう ぶ けん

雨天順延
う てん じゆん せん

よい天気
てん き

二目と見られぬ姿
ふた め み すがた

一日の長
いち じつ ちよう

入学・卒業
にゆう がく そつ ぎよう

一年・一日
いち ねん いち いち

空白がある
くう はく

白木の箱に
しら き ばこ

白目をむく
しろ め

男と女・男女

おんな

だん

じよ

竹林の七賢人

りん

しち

けん

じん

火中の栗をひろう

か

くり

空中・水中

くう

すい

ちゆう

手中にする

しゅ

下町・山手

した

やま

て

市町村・都道府県

し

そん

と

どう

ふ

けん

雨天順延

う

じゆん

えん

よい天気

き

二目と見られぬ姿

すがた

一日の長

入学・卒業

そつ

ぎやう

一年・一日

空白がある

くう

白木の箱に

ま

ば

ば

白目をむく

め

男と女・男女

よい天気

竹林の七賢人

二目と見られぬ姿

火中の栗をひろう

一日の長

空中・水中

入学・卒業

手中にする

一年・一日

下町・山手

空白がある

市町村・都道府県

白木の箱に

雨天順延

白目をむく

男と女
おとこ おんな だん じよ

の七賢人
ちく りん しち けん じん

の粟をひろう
か ちゆう くり

水中
くう ちゆう すい ちゆう

にする
しゆ ちゆう

山手
した まち やま て

市村・都道府県
し ちゆう せん とう どう ふ けん

順延
う てん じゆん せん

よい
てん き

と見られぬ姿
ふた め み すがた

の長
いち じつ ちゆう

卒業
にゆう がく そつ ぎよう

一年
いち ねん いち にち

がある
くう はく が

の箱に
しち き ほん

をむく
しろ め

議論百出 ぎろん ひやく しゅつ

本文を読む ほんぶん よむ

本字を書く ほんじ か

本文・序文 ほんぶん じょぶん

本名と芸名 ほんみやう げいめい

学名・俗名 がく めい ぞく めい

本名を名のる ほんみやう な

名花百選 めい か ひやく せん

草木もなびく くさき

一目おく いちもく

糸目をつけずに買う いとめ か

大目玉を食らう おおめ だま

学力がない がく りよく

火力発電 かりよく はつ でん

気力あふれる き りよく

出力百万キロワット しゅつりよく ひやくまん

議論百出ぎろん しゅつ

本文を読むぶん よむ

本字を書くほんじ か

本文・序文ぶん じょぶん

本名と芸名みょうう げいめい

学名・俗名がく ぞくめい

本名を名のるほん な

名花百選か ひゃくせん

草木もなびくくさく

一目おくいち

糸目をつけずに買ういと かい

大目玉を食らうおお だま

学力がないがく

火力発電か はつでん

気力あふれるき

出力百万キロワットしゅつりき ひゃくまん

議論百出

本文を読む

本字を書く

本文・序文

本名と芸名

学名・俗名

本名を名のる

名花百選

草木もなびく

一目おく

糸目をつけずに買う

大目玉を食らう

学力がない

火力発電

気力あふれる

出力百万キロワット

議論ぎろん ひやくしゆつ

ほんぶん を読むよ

ほんじ を書くか

ほんぶん ・序文じよぶん

ほんみよう と芸名げいめい

がくめい ・俗名ぞくめい

ほんみよう を名のるな

めいか ひやくせん 百選

くさき もなびく

いちもく おく

いとめ をつけずに買うか

大 おおめ を食らうく

がくりよく がないが

かりよくはつ でん 発電

きりよく あふれる

しゆつりよく ひやくまん 百万キロワット